

Ochanomizu Bible Institute
お茶の水聖書学院

NEWS LETTER

Issue 70
June / 2026



神田 恵菜
OBI教師 / 「ギリシャ語入門」担当

OBIでの新年度が始まり、2ヶ月が経ちました。教育方針として「共同的学び」を掲げるOBIで、私たちは「共に学ぶ」ことをどのように経験しているのでしょうか。ギリシャ語講座の担当者として（また私自身も一人の言語学習者として）、言語学習において、「共に学ぶ」ことの意義は多面的だと感じています。

例えば、「聖書を原語で読めるようになる」ことは、誰でも達成可能な目

共に学ぶ

標ではありますが、短い期間でたどり着けるゴールではありません。このため、言語学習における最大のチャレンジのひとつは、モチベーションを保ち続けることだと言えるでしょう。長期間に渡って一人でコツコツと学び続けることは、（少なくとも私自身の経験上）大変難しいことです。

このような課題に直面する言語学習者にとって、「共に学ぶ」ことの意義の一つは、アカウントビリティが高まることだと思います。毎週、学習計画に沿って決まった内容を予習し、特定の時間にクラスに参加すること。発言を求められた場合に備え、何かしら準備すること…。クラスの一員となることで（教師や、他の学習者に対する）ある種の責任感が生まれます。忙しい日常の中でも、共同の学びの場に身を置き続けることによって、少しずつでも前に進んでいく励ましとなります。また、「共に学ぶ」時には教師からだけでなく、他の学習者の発言や質問

から学ぶきっかけが与えられるでしょう。さらに、コミュニティの中で学んでいること自体が喜びとなり、そこで生まれる友情関係によって学びが励まされることもあるでしょう。

もっとも、「聖書」は共同体の中で読まれるために書かれました。それゆえ、聖書を原語で読む・理解しようとすることは、「単独で」ではなく、「共に」取り組むことこそが適切だろうと思います（これは原語で読む時に限らずですが）。共同体として聖書に向き合うことによって、その言葉が「私たち」に対して持ちうる意味合いに気づく機会が与えられるでしょう。

今年度も、OBIにおいて「共に学ぶ」環境が備えられていることに感謝しています。互いの学びを励まし、またお互いから学び合いながら、共に「主と教会に仕える」旅路を歩んでいければと思います。

2025年度 教務報告

教務主任・神学コース主任
山村 諭

2025年度は聖書科正科に1名、教会音楽科に5名が入学し、各学期に多数の聴講生を迎えて学びがもたれました。月1回あるいは学期に1回は対面授業を行うクラスも増え、授業後には図書ラウンジで食事をしながら神学談義を楽しむ光景がみられました。学院生同士も共に学ぶ仲間としての交わりが深まり、仲良くなってきた印象です。



図書ラウンジでの交わり

従来のサマースクーリングと教会音楽デーを統合して「OBIデー」を7月5日にOCC8階チャペルで開催しました。午前は聖書科講義として遠藤勝信先生（東京女子大学教授・聖書学担当）による「黙示録における讚美」の学び、午後は教会音楽科の斉藤とし子先生によるワークショップで、黙示録の壮大な讚美を表現した「ハレルヤコーラス」を共に歌いました。



授業風景



図書ラウンジでの交わり

教会音楽科の実技レッスンには葛葉美奈子先生が加わり、ボイストレーニングのクラスが開講されました。教務山村もボイストレーニングを受講し、発声や歌い方、身体の使い方・整え方を学び、他の受講生と共に練習を重ねながら、2月の学年末発表会で歌わせていただきました。



卒業風景

水曜日の11時から11時半には「水曜礼拝・OBIチャペル」が行われました。主な説教者は大井学院長、教務山村、高木誠一先生、山崎龍一先生、阿部頼義先生、ペアンテ・ポーマン先生でした。学年末には「卒業チャペル」として卒業予定者が奨励をしました。

諸教会、後援会・同窓会の皆さまのお祈りとお支えに心から感謝しつつ、引き続き力強いお祈りとお支援をよろしくお願いいたします。

教会音楽科報告

教会音楽コース主任
内藤 真奈

主の豊かな導きの中、これまでの教会音楽科の歩みが守られ祝されていることを感謝いたします。2025年度から始まった水曜礼拝・OBIチャペルでは、教師だけでなく学院生2名が奏楽奉仕を担い、レッスンで学んだことを実践へ活かす貴重な機会となりました。今後も奉仕を担う方がさらに与えられますよう願います。



卒業チャペル

年間行事のOBI教師によるチャペルコンサート（10月）と学院生の学年末発表会（2026年2月）には、多くの来会者があり、温かな雰囲気の中、主を賛美し崇める機会となりました。



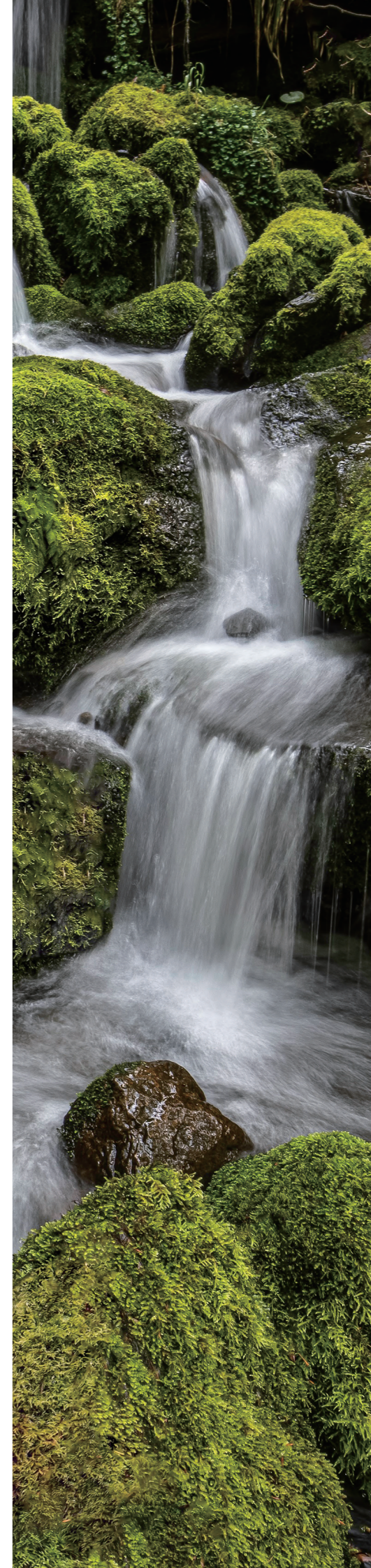
卒業チャペル

特に、2025年度以降開講のボイストレーニングの教師と受講生による独唱・コーラス、聖歌隊クラスのJ.ラター作品による独唱・合唱賛美が、新しい風を吹き込んでくれたと感じております。



チャペルコンサート

2026年度、新たな学びを始めた学院生ひとりひとりの上に主の祝福が豊かにありますように、また、秋・冬学期以降も教会音楽の学びに関心を持つ方、学びを始められる方が一人でも多く起こされますようにと心から主に祈っております。引き続き、皆様のお祈りとご支援をよろしく申し上げます。



主と共に歩む

野村 佳代

単立 南越谷キリスト教会



お茶の水聖書学院では、聴講から正科へと長い学びでした。その中で色々な教会の方々との出会いは、考えが大きく広がる体験となりました。自分の言葉で信仰を伝えられる信徒になりたいと入学して、私にとって一からの学びでした。

2025年春、さあ卒業研究に向けて頑張ろうと思った矢先、まさかの脳腫瘍が見つかり、絶望。卒業研究は無理と思われましたが、神様は片時も離れず寄り添って病を癒してください、卒業まで導いてくださいました。神様の御臨在を実感しました。卒業研究の御指導くださいました中山先生はじめ諸先生、また、アンケート調査にご協力くださいました皆様、ありがとうございました。

神様、皆様のお支えあって卒業する事ができました。感謝！霊肉共に神様にお捧げできる奉仕者として、元気に歩んで参ります。

「主は私にかかわるすべてのことを成し遂げてくださいませ。」(詩篇 138 篇 8 節)

卒業研究

現代の福音派教会の
礼拝賛美について考える
指導教師 中山信児

知識が信仰に変わるとき

岩田 恵里子

インマヌエル総合伝道団 高津キリスト教会



OBI 聖書学院で歴史上の聖書の偉人や聖書考古学のクラスを受講し、感動しました。旧約の時代、イエス様のご生涯や使徒たちの働き の時代には、まだ聖書は一冊の書物として存在していませんでした。その後、印刷技術がない中、幾百年にも渡り手書きで正確に伝えられてきた事実に、まず驚かされました。

歴史の中では、数々の分裂や宗教戦争が繰り返されきました。神の言葉がゆがめられてもおかしくない状況です。しかし、一語たりとも間違えることなく、正しく守り伝えられてきた、そこに神の確かな摂理を深く覚えました。学ぶほどに、考古学や歴史という学問的な視点と、神が守り導かれたという霊的な視点が一つとなり、知識が「信仰の確信」へと変えられていきました。

学院の牧師先生方は皆、謙虚で決して偉ぶらず、しかし非常に深く学ばれています。なかには、博士と思われる方もおられます。礼拝では誰にでもわかる優しい言葉で語られますが、その背後にある学識と信仰の深さに敬意を覚えました。この学びをすべての信徒の方々に、お勧めしたいと心から思います。

卒業研究

キリスト教(プロテスタント)
における富の概念
：清貧の思想的起源と現代の課題
指導教師 坂本誠

退職後に導かれた献身

藤巻 正人

日本福音自由教会協議会 草加福音自由教会



お茶の水聖書学院(OBI)で3年間学ぶ中、いろいろな科目を受講させていただきました。背景の異なる先生方、生徒のみなさんと学べたことは大きな恵みです。学んでいる中で、無牧や兼牧の教会が多いこと、後継者が少ないこと、教会員の高齢化などの状況を知りました。高齢化の時代、長年働いて退職した人が献身することがあってもよいのではないかと思うようになり、さらなる献身の思いが与えられました。この4月から聖書神学舎(聖書宣教会)で学ぶことになりました。

「信じたことのない方を、どのようにして呼び求めるのでしょうか。聞いたことのない方を、どのようにして信じるのでしょうか。宣べ伝える人がいなければ、どのようにして聞くのでしょうか。遣わされることがなければ、どのようにして宣べ伝えるのでしょうか。」(ローマ 10:14-15)

私は60歳を超えて若くはありませんが、福音を宣べ伝える働きのために用いていただきたいと思っています。これから先、どのような働きができるのか分かりませんが、主の導きにお委ねしたいと祈っています。

卒業研究

使徒信条の成立および
受容に関する一考察
指導教師 高木誠一

主への感謝

柿島 恵里沙

日本同盟基督教団 恋ヶ窪キリスト教会



OBI 入学を決意した当時、私は苦悩の中にあり、自らのことで手一杯で、教会に仕える奉仕者として OBI の学びを生かすことを考えられる状態ではありませんでした。ですから、ただ、聖書の学びが私の信仰生活の糧となることを信じ、主の導きを与えられることを期待して入学しました。

OBI では、神学の基礎を学び、旧約と新約を概観し、時に土地や当時の生活、政治状況から深く聖書を読み解き、主のみことばを受け取ることができました。

主の前に静まり、主が私に対しどのように愛を注がれているかを想起し、信頼について熟考することができました。

また、教会や生活においてみことばを実践することについて様々な観点から教えられ、人と関わること、特に奉仕者として教会に仕えることにおいて少しずつ成長させて頂いたと思います。

主にあつて OBI に導かれ、信仰の成長がもたらされたことに深く感謝します。生涯学習として、卒業後も聴講生の立場で学びを深めたいと思います。

卒業研究

旧約聖書における「神への信頼」
-詩篇 37 篇の積義的考察-
指導教師 菊池実

2026年
学窓トピックス

教務主任 山村 諭

4月6日(月) 18:30より2026年度の入学式が行われました。新たにコース制を導入して歩み出したOBIに8名(神学実践コース3名、神学基礎コース4名、教会音楽コース1名)が入学されました。また28名の新規聴講生を迎え、総勢107名で2026年度春学期の授業がスタートしました。

対面で学ぶ学院生も増え、学院に活気がでてきました。授業後には図書ラウンジで語り合う光景がみられます。学んだ内容を消化して自ら考えるためにも語り合える環境は大切だと思います。土曜日午前の「教会的アドミニストレーション学1」(山崎龍一先生)には対面参加者が多数あり、ランチタイムはラウンジに取まらず、会議室を借りて行っています。水曜日のチャペルにも対面参加者が増えつつあり、遠方の学院生はZoomでも参加できるようになりました。

今学期から新たに小川真先生(同盟基督教団 国立キリスト教会)を教師としてお迎えし、「被造物ケアの神学」を講義していただいています。キリスト教世界観に基づいて被造物との関係を考える学びです。以下の「新教師紹介」をご参照ください。「被造物ケアの神学」は隔年開講の予定です。

7月4日(土)に「OBIデー」を開催します。OBIの学びを体験する機会としてぜひ教会の方とお誘い合わせの上、ご参加ください(8頁に案内)。受講料は無料ですが、お申し込みが必要です。



新教師紹介



小川 真
日本同盟基督教団
国立キリスト教会牧師
「被造物ケアの神学」担当

今、世界は痛んでいます。大量消費と大量廃棄、さまざまな汚染、止まない戦争によって、被造物は深く傷ついています。ではこの世界のために誰が仕えていくのでしょうか。私は、創造主なる神が深い愛でこの世界を造られたことを知り、また主イエス・キリストがこの世界の回復のために命を献げられたことを知っているキリスト者こそが、この働きにふさわしいと信じています。

本講義では、環境問題を聖書の視点から捉え、創造・墮落・贖い・完成というキリ

スト教世界観に基づいて、被造物と人間の関わりを学びます。また個人や教会でできる実践的なことについても取り組んでいます。

この学びが、教会が福音の視点から世界に仕え、被造物を大切にすることを再確認する機会となればと願っています。また、世界を大切にしていける教会の姿勢は、地域社会に対する力強い証しとなっていくと信じています。信仰と生活を結びつけながら、ともに歩んでいきましょう。

2026年度 秋・冬学期 開講クラス紹介



豊田 信行
ニューライフキリスト教会
牧師

▶ サーバントリーダーシップ

サーバントリーダーシップはテクニックやスキルを身につけるようには習得できません。傾聴のスキルは有益ですが、信頼関係を築くには人格的な交流が欠かせません。サーバントリーダーは立場、権限を越えて、人格によって他者を導きます。イエスの影響力が色褪せないのは他者のためにいのちを捨てた愛のゆえです。人は真実に愛してくれる人の言葉に心を開きます。反対に疑

心暗鬼になると心を閉ざします。サーバントリーダー自身がイエスに似る者とされることが欠かせないのです。

パウロは「私がキリストに倣う者であるように、あなたがたも私に倣う者でありなさい。」(1コリ 11:1)と命じました。人は誠実な生き方に応答するのです。リーダーの霊性も取り扱います。



坂本 誠
日本ナザレン教団
下北沢教会牧師 /
日本ナザレン神学校校長

▶ キリスト教思想史 キリスト教偉人の生涯と思想パート2

皆様、主の御名を賛美いたします。このクラスは前回は行いました、キリスト教偉人の生涯と思想を紹介していくクラスのパート2です。今回授業は聖書やキリスト教界の中で活躍した人物に焦点を当てて旧約時代

から近代に亘り講義していきます。主な人物は以下の通りです。

その人物の生涯を概観しつつ、その思想と現代への遺産としての影響を講義させていただきます。是非、ご参加ください。

- | | |
|-----|-------------------------------------------------------------------|
| 秋学期 | ミカ・エレミヤ、宮廷預言者・エゼキエル、マリア、ペトロ、イグナチウス・デ・ロヨラ、エラスムス、シュヴァイツァー、パウロ・ティリッヒ |
| 冬学期 | リチャード・バクスター、キルケゴール、ニューマン、ラインホルト・ニーバー、リチャード・ニーバー、新島八重 |



小渕 朝子
カウンセリングオフィス
お茶の水 公認心理師

▶ 牧会心理学 心の危機とその対応を考える

牧会の働きのために最も大切なことの一つは人間理解です。そのために必要な自己理解を含めた人間理解を深めます。共に本を読み、臨床心理学や精神医学的な知見を参考にします。

その次に、身近に出会う可能性がある「大人の発達障害」や「パーソナリティ障害」についての基本を学び、教会での対応について考えたいと思います。

まず、ライフサイクルの中で誰もが経験する可能性がある「心の危機」について学び、自分のこととしてその対応について考えていきます。

場合によってはケーススタディ(事例検討)を行いますので、受講条件として秘密を守れる方、また、積極的にディスカッションに参加できる方の受講を歓迎します。

<p style="writing-mode: vertical-rl;">お申込みの流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="background-color: #4a7c9c; color: white; padding: 5px; text-align: center;">願書提出 <li style="background-color: #4a7c9c; color: white; padding: 5px; text-align: center;">▼ <li style="background-color: #4a7c9c; color: white; padding: 5px; text-align: center;">入学審査 <li style="background-color: #4a7c9c; color: white; padding: 5px; text-align: center;">▼ <li style="background-color: #4a7c9c; color: white; padding: 5px; text-align: center;">ご入学 <li style="background-color: #4a7c9c; color: white; padding: 5px; text-align: center;">▼ <li style="background-color: #4a7c9c; color: white; padding: 5px; text-align: center;">受講案内 	<p style="background-color: #4a7c9c; color: white; padding: 5px;">聴講・レッスン受講の提出書類 ※事務局までご郵送ください</p> <ul style="list-style-type: none"> • 願書 (HP/QRコードよりダウンロード) • 所属教会牧師の推薦状 (A4用紙1枚程度) <p style="text-align: right;"> 願書ダウンロードはこちらから → </p>	<p style="background-color: #4a7c9c; color: white; padding: 5px; text-align: center;">学院パンフレット</p> <p style="font-size: small;">学院の詳細はパンフレット(HP/QRコード)をご参照ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 日程 • 時間割 • 受講料 <p style="font-size: x-small; text-align: center;">www.obinet.com</p>		
<p style="background-color: #4a7c9c; color: white; padding: 5px; text-align: center;">申込締切</p> <table border="0" style="width: 100%; font-size: small;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <p>秋学期 8月3日(月) 必着 講義・レッスン開始: 9月1日~</p> </td> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <p>冬学期 10月22日(木) 必着 講義・レッスン開始: 11月19日~</p> </td> </tr> </table>	<p>秋学期 8月3日(月) 必着 講義・レッスン開始: 9月1日~</p>	<p>冬学期 10月22日(木) 必着 講義・レッスン開始: 11月19日~</p>		
<p>秋学期 8月3日(月) 必着 講義・レッスン開始: 9月1日~</p>	<p>冬学期 10月22日(木) 必着 講義・レッスン開始: 11月19日~</p>			

4

- 6(月) 入学式
- 7(火) 春学期 開始
- 29(水) 5/6(水)まで春季休暇

7

- 2(木) 8/31(月)まで夏季休暇
- 4(土) OBIデー (OCC 8Fチャペル)

8

- 3(月) 秋学期 聴講願書締切

9

- 1(火) 秋学期 開始

10

- 17(土) チャペルコンサート (OCC 8Fチャペル)
- 22(木) 冬学期 聴講願書締切

11

- 19(木) 冬学期 開始

12

- 16(水) 1/4(月)までクリスマス休暇
学院生クリスマス会 (日程未定)

2

- 20(土) 学年末発表会 (OCC 8Fチャペル)
- 25(木) 冬学期 終了

3

- 13(土) 卒業式 (OCC 8Fチャペル)



お茶の水聖書学院の学びを体験する一日として、「OBIデー」を開催します。

毎週の礼拝にも、日々の賛美にも、教会の奉仕にも、神学が息づいています。神学は、信仰を言葉にし、祈りと礼拝を豊かにするだけでなく、奉仕の中で抱える悩みや戸惑いに光を与えます。そして神から託された世界と日々の歩みを、信仰をもって受けとめ担っていく力を養う学びです。

講義と賛美ワークショップを通して「信徒のための神学」の喜びに触れる一日となればと願っています。

第1部 講演：高木 誠一 (OBI教師・教文館編集者)
10-12時 「なぜ信徒に神学が必要なのか? -聖書的・教会的な思考のレッスン-」

第2部 講演：西 由起子 (フェリス学院大学・東京基督教大学講師)
13-15時 「賛美ワークショップ」

OBI学院生はもちろん、初めての方も、どなたでもご参加いただけます。

2026年
7月4日(土) 10-15時
会場：OCC 8Fチャペル

お申込みはこちらのQRコードから▶
・受講料無料 ・昼食持参
※6月26日(土) 申込締切り



皆さまの尊いご献金を、心より感謝申し上げます。

東京中央バプテスト教会
経堂めぐみ教会
鎌倉海岸キリスト教会
百合ヶ丘バプテスト教会
市川北バプテスト教会
鎌倉海岸キリスト教会
荻窪栄光教会
経堂めぐみ教会
久遠基督教会
日本同盟基督教団古河教会
小平聖書キリスト教会
宇都宮聖書バプテスト教会
横浜キリスト福音教会
東京中央バプテスト教会

百合ヶ丘バプテスト教会
市川北バプテスト教会
茅ヶ崎同盟教会
ニューコミュニティ
チャペルコンサート席上献金
学年末発表会席上献金
石井 由紀
安佛 理恵
米田 由起子
塩野 孝子
駒井 卓
飯島 多稼夫
安藤 良一
石塚 幸子
中平 悦子

中村 道夫
慶徳 正好
生田 今日子
迫田 由美子
北川 君子
小池 力夫
原 正子
石塚 幸子
小泉 泉
工藤 紘子
中条 昭治
キシモト ジュンコ
関谷 典子
濱砂 尚子
中島 總一郎
飯島 延浩

OCCお茶の水聖書学院
後援会同窓会

※ 順不同・敬称略
※ 2025年4月1日 ~ 2026年3月31日